



2023年5月17日

各位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループCEO 阿部 修平
(コード 8739 東証プライム市場)

「未来創生 3号ファンド」
メタバースプラットフォーム「cluster」を運営するクラスター株式会社への投資実行
—創造力を加速し、物理的・身体的制約から解放する—

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2021年10月に設立された「未来創生 3号ファンド」が、クラスター株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：加藤直人。以下、クラスター社と表記）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。クラスター社は今回の調達資金を活用し、バーチャル経済圏のインフラを確立し、グローバル化を加速させます。

■ 投資先企業の概要

クラスター社は誰もがバーチャル上で音楽ライブ、カンファレンスなどのイベントに参加したり、友達とバーチャル空間やゲームで遊ぶことのできるメタバースプラットフォームを展開しています。スマホや PC、VR といった好きなデバイスから数万人が同時に接続することができ、これにより大規模イベントの開催や人気 IP コンテンツの常設化を可能にしています。

■ 「未来創生（1号）ファンド」、「未来創生 2号ファンド」および「未来創生 3号ファンド」の概要

未来創生（1号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた3社による総額約135億円の出資により、2015年11月より運用を開始しました。最終的には、上記3社を加えた計20社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技术を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約50社に投資しました。2018年下半期には、既存投資領域3分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生2号ファンドの運用を開始しました。そして、2021年10月から未来創生2号ファンドの5分野に加えて、「カーボンニュートラル」を投資対象とし、スパークスの子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社をファンド運営者とした未来創生3号ファンドの運用を開始しました。2023年4月末時点の運用資産残高は、1号、2号および3号をあわせて、1,509億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：<https://mirai.sparx.co.jp/investment/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL：03-6711-9100 / FAX：03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com